

七月二十九日夕、真誠会セントラルレジデンスにて、第百十八回年輪句会を開催しました。当日互選された句の中から(中村夢窓会員により)一句ずつ選び、掲載します。

一匹の蚊の悩ましく夜明け前
縁側のごろ寝の頬に青田風
長梅雨を抜けて眩しき大地かが
苦笑い大人びる子と鮎の腹
白無垢の額に玉の汗光り
たましひのわけてさうりと沙羅落つる
通し鴨畦に春の睦まじく
花英塵に赤子の眠る夕べかな
うたた寝を待ちし花火に破るるる
目覚むれば令和でありし五月かな

三保文峰
福井龍介
長谷川義朋
廣谷栄一
鹿島康裕
前田寿美
坂本胡兆
佐々木博正
鶴田和風
中村夢窓

次の句会は十月二十八日(月)、真誠会セントラルレジデンスにて開催の予定です。

観望委員会

鹿島 康裕

俳句同好会世話人

佐々木博正